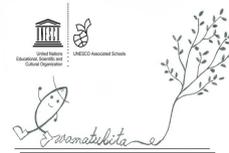


岩北ユネスコスクールだより



よりよい未来を創っていくために、学び考え行動する子



2014. 7. 23 No. 3

富士市立岩松北小学校

地域で育つ岩北っ子

先週、岡山県倉敷市で女兒が行方不明になる事件が発生しました。報道によると下校中に家まであと100mのところでは知らない男に声を掛けられたということでした。みなさんは、不審者とはどういう人だと思いますか。帽子を被っていて、マスクをしていてサングラスをかけていて…こんな不審者は実際にはいませんよね。では、子ども達にどのように不審者のことを話せばよいか学校現場でも悩んでいるところでは、「近くに郵便局はありますか。」と男の人が声を掛けてくれば案内してあげましょうと、教えたい場面です。でも「一緒に行ってくれませんか。」と言われてしまったら。子ども達に何と教えてあげたらよいでしょう。



私たちは事件や事故を未然に防ぐことが大事になってきます。こんな話を聞いたことがあります。犯罪が起こりにくい地域は、道路やゴミ捨て場がきれいで路上駐車などが少ないそうです。事件が起こらないことと、地域がきれいであるということは一見全然関係ないように思えます。しかし、犯罪者の心理として地域がきれい＝地域の方々の目が行き届いている＝犯罪がしにくくなると思います。

昨年度の6年生は学区の川をきれいにしました。今年度は4年生が公園のゴミを拾いに出掛けました。5年生はメダカの学習から川をきれいにしたいと思いました。2年生は、生活科の学習で、水神宮やまちづくりセンター、みもぎの里、公園などに探検に出かけ、地域の良さを発見しました。園芸委員は花をきれいに育てています。運営委員は朝から全校に挨拶をしています。毎日の掃除も全校で本当によく頑張り、隅々まで丁寧に雑巾がけをしています。どの活動をとっても、自分たちの環境を自分たちでよくしようとしています。そして、地域に目を向けると19日にPTA役員の方々が通学路の点検をしてくださいました。子ども、学校、地域の方々の連携により、岩松北小学校の環境は確実によくなっています。そして、この活動が防犯対策にも繋がっているのです。環境教育と防犯教育が一体となっている。これは、岩松北小学校が目指すESDの姿です。



Think globally Act locally の夏休みに！

(地球規模で考え、足下から行動しよう)



6年生の社会の時間に世界地図を広げ、今、世界で何が起こっていますか？と問いかけました。サッカーワールドカップという声の中、戦争…というつぶやきが聞こえてきました。新聞記事を多く活用する授業を意識しています。そこに記載されているたくさんの事実をつないで、自分の考えをつくる力を育てたいです。図工では3枚の絵の鑑賞から、未来を考える時間を創りました。

ESDの研修会に参加すると、「Think globally Act locally」という言葉をよく聞きます。遠いところで起こっていることも、実は自分の生活につながっています。まだ難しいからと遠ざけずに、世の中を見つめ考える時間をつくりたいです。例えば、友達がいじめられていたらどうするかな？と尋ねたら、1年生は何て答えるでしょう。「殴って助ける」でしょうか、「大人を呼びに行く」でしょうか、それとも「やめなよ！って言う」でしょうか。集団的自衛権について、1年生でも考える時間が創れます。

明日から夏休み。じっくり考える時間がたくさんあります。今、世の中で起こっていることに関心をもって、ご家庭でも話題にしてください。自然とたくさん触れあう冒険の旅、または本や新聞の世界に入り込む知的な冒険の旅に、さあ出発です！

※今回は、加藤・四條が担当しました。